

令和3年度 長崎県立島原工業高等学校関係者評価 報告

1 評価の実施期日・場所等

令和4年3月4日（金） 書面による聞き取り調査

2 学校関係者評価委員

当該委員は、学校評議員と兼務する。

委員：星野親房委員、松川慶委員、松嶋朝子委員 計3名

3 学校関係者評価の内容

（1）自己評価の結果について

①生徒アンケートの結果は29項目中18項目でポイントが上昇している。しかし、5項目で0.1ポイント下がっている。

すべての項目で高い評価を得られているが、引き続き、学校の教育方針を保護者に伝え、学習活動の推進と家庭との連携を深めていきたい。

②保護者アンケートは30項目中28項目でポイントが上昇している。ポイントが下がった項目もなく、すべての項目で高い評価を得られている。

学習習慣の確立のための教職員の指導力向上を目指した取り組みを検討したい。

③教職員の自己評価において、28項目中、18項目が前年度より下降している。しかし、すべての項目で3.0を超える値となっており、高い評価となっている。

特に、地域との連携に関する項目が一番低い評価となっているが、取り組みについては多くの場面で連携を行っている。職員への周知をより進めたい。

（2）自己評価の結果を踏まえた今後の改善策について

①1人1台端末の活用場面は、比較的増えてきている。

今後は、より効果的に活用できるように、研修と実践を継続していきたい。

②広報活動については、様々なメディア等を活用した広報活動を推進していきたい。

（3）学校の重点目標や自己評価の評価項目について

学校の重点目標や自己評価の評価項目は適切である。

（4）学校運営の改善に向けた実際の取り組みについて

①今年度の各種取り組みを継続できるように、校内での連絡体制を整えて、活動を続けていきたい。

②進路決定後の指導については、ご指摘いただいたTOEICやワープロ表計算等の操作の学習を必要な生徒に勧めていきたい。